

## ☆ ぼくの夢 わたしの夢 ☆

ぼくの将来の夢は建築士になることです。建築士になっっている人々の家を作りたいです。

ぼくは小さな時から建築士になりたいと思っていました。今でもその夢は変わっていません。ぼくは、大きくなって建築士になったら、兄弟や両親の家も建てたいと思っています。もちろん自分の家も自分で建てたいです。その時が来るまでがんばりたいです。

ぼくの将来の夢は、医者になることです。

なぜぼくが医者になりたいかということ、毎日朝早くから夜おそくまで働く父のようになりたいと思うことがあるのと、どうして人間は体を動かせたり、前の物が見えたり、考えたりすることができるのだろうか、何回か疑問を持ったことがあるからです。だからぼくは父のような医者になりたいです。

僕の将来の夢は、興味のある職業がたくさんあって、今はまだ一つに決まっています。人の命を救う事ができる医者、未知な事がまだまだ多い宇宙に関する仕事、新しい事を自分の手で発見できる研究者……。いずれにしても、人の役に立つような仕事に就きたいと思います。そのために、中学に行っても一生懸命勉強し、さらにいろんな事を経験する中で、本当の自分の夢を見つかけたいと思います。

ぼくの将来の夢は、小学校の教師です。理由は、両親が二人とも小学校の教師だということ、教えるのが楽しそうだったからです。今まで六年間、ほぼ同じメンバーで過ごしていると、友達に教えたり、教えられることもよくありました。そうした時に、ぼくにしてみればうまく教えられたな、あの子教えるのが上手だな、と思うことがよくありました。そして、みんなに分かやすい教え方をしてみたいと思うようになりました。

ぼくの夢はエアラインパイロットです。ぼくは昔から乗り物が好きで、将来は乗り物に関する職に就きたいと思っています。小さいころからバスの運転手↓電車の運転士↓車↓船の船長↓エアラインパイロットと現在に至ります。多くの命を背中に乗せて飛ぶという責任は大きいですが、それにやりがいを感じる事ができるのだらうと思います。そして、多くの人の夢を乗せてお客様を旅先までお届けするのがぼくの夢です。

ぼくの将来の夢は、まだはっきりとは決まっていますが、人の役に立てるような仕事をやってみたいと思っています。例えば医者です。なぜなら人々の病気を治す大切な仕事だからです。これをやるなら、もつと勉強をしなくてはいけないと思います。苦手を教料がたくさんあるので、すべて得意になれるように夢に向かって一日一日を大切に努力していきたいと思っています。

ぼくは、将来薬剤師になりたいと思います。いろんな薬の調合をしたり病気を治すことのできる薬の開発をしたいと思っています。なぜならいろんな人の病気を治すことができるからです。そのためには勉強をしなければなりません。なので勉強を頑張りたい自分の夢を叶えて、みんなから尊敬されるような薬剤師になりたいと思います。

ぼくの将来の夢は、医者になって父の仕事を手伝うことです。なぜなら、父が仕事をしている姿をいつもそばで見ていると、患者さんが笑顔で帰っているのを見てとてもいい仕事だと思つたことと、人の役にたつ仕事をしたかったからです。これからも努力し続け、一人でも多くの人を助けて、一人でも多くの人たちを笑顔にしたいです。

ぼくの将来の夢は税理士になることです。なぜなら、ぼくは以前ニュースで税金のことに関する事件をいろいろと見てきて、それらの事件を少しでも自分の力で減らしていきたいと思つたからです。他にもお客さんから頼りにしてもらえたいというのも理由の一つです。だから、ぼくはお客さんの役に立てるような立派な税理士になりたいです。

僕の夢は小児科医になることです。なぜなら、小さい子供達を病気で苦しませたくないからです。僕は「医は仁術」という言葉を聞いたことがあります。医学はお金のためにあるのではなく、人を救うためにあるのだということです。人に優しくなければ、医者にはなれないのです。僕はこれからも勉強に精進していき、医学の道へ進んでいくのだという思いを胸に停めたいと思つています。

ぼくの将来の夢は、お医者さんになることです。その理由は、六年生の夏休みに虫垂炎になり、その時、主治医の先生が、治療だけでなく、手術の前夜、いつも優しく話しかけてくれてぼくの不安な気持ちを和らげようと、一生けん命助けてくれたことがうれしくて、そんなお医者さんになりたいと思つたからです。

ぼくの治療でたくさんのお医者さんをお見舞いしたいと思います。

ぼくの将来の夢は、地球環境学の研究者になることです。なぜならテレビで地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨などの問題を特集する番組を見て、このままではいけないと強く感じたからです。とても大きな問題なので大変だろうと思いますが、その分やりがいがあるのではないかと思います。地球の問題は世界の問題でもあります。ぼくの研究で世界の発展や社会に貢献したいと思つています。

私の夢はまだはっきりとは決まっていますが、人を笑顔に出来る仕事をしたくと思つている。私が教わつたじゅく先生に、いつも前向きで、どんな時も出来るよと応援してくれる先生がいる。将来どんな仕事に就いたとしても、この先生のように、みんなを笑顔に、元気にさせることができる人になりたいと思つている。

私の将来の夢は医者になることである。幼いころから父の姿を見てきているので、すばらしいなあとおがれている。それから、重い病で苦しむ人、ワクチンが打てなくて困っている人、そんな人をテレビなどで目にする時、その人達を助けたい、もう一度その人達に笑ってもらいたい、そう強く思うのだ。医者とは人の命を預かる大切な仕事だ。だからこそ、大変で困難をともなう。だけど私は自分の志を成しとげたいと思つている。

私の将来の夢は、薬剤師になることです。私が薬剤師になりたかと思つたのは、病氣などで困っている人を救いたいと思つたからです。薬には、病氣をおさず薬がある反面、だれかを苦しめるかもしれない悪い薬もあります。私は、だれかを救えるような良い薬を作りたいです。まだ、だれも発明していない薬を作つて、たくさんの方が健康でいられるようにしていきたいと思つています。

私の夢は、法律家になることです。無差別殺人やえん罪など、理不尽な出来事が社会にはたくさんあり、毎日のように報道されています。加害者、被害者どちらの味方をするのではなく、真実を明らかにして、みんなが笑顔で過ごせるように、私が手を差し延べることが出来たらいいなと思います。

夢の実現は、とても難しいけれど、私は今をがんばるために夢を持っていたいと思います。

私の将来の夢は、まだあまり決まっていませんが、幼稚園の先生か、人々を助ける仕事をする予定です。私も、母や祖母と同じで、子供が大好きなので、幼稚園の先生になって子供たちの面倒を見たいと思います。人々を助ける仕事というのは、看護師になることです。幼稚園のころの夢は看護師になることだったので、なりたいと思っています。

私の夢は、アナウンサーになることです。そのきっかけはラジオ番組の収録に参加する機会があり、その時のアナウンサーの対応や話し方の素晴らしさを目の当たりにして、興味を持つようになったからです。また文理の卒業生からもアナウンサーになられている方がいると知り、私の「夢」の一つになりました。そのため、勉強をしっかりとしていこうと思います。

医者になること、それが私の将来の夢です。私の父は医者です。父を見てみると、いそがしそうだけど仕事の中に喜びや楽しみを見出して、仕事をしているように見えます。その姿は、本当に素敵でまた幸せそうでもあって、幼いころからそれを見ていた私は、父のような医者になりたい、と思うようになりました。また、医者とは人の命を救う、とてもやりがいのある職業だと思っていられるのも大きな理由です。

私の将来の夢は、父の会社に入り、いつもいそがしそうな父を手伝うことです。外国に行くことも多いので、通訳してあげられるように英語を上達しておきたいです。父の会社は、医療関係の会社ですが、日本はこれからもっと高齢の方が増えるでしょうし、外国でも、健康に気を使われる方が増えてくると思うので、そんな方達の役に立てるように頑張ろうと思います。

私の将来の夢は、看護師になる事です。前にテレビのドキュメントで小さな子供が重い病気と戦う番組を見ました。その時のつらい治療もがんばってたえ、必死に生きる姿に勇気をもらいました。そして常にその子供達によりそってお世話をしている看護師さんのような存在になりたいと思いました。命と向き合う仕事なのでつらい事もたくさんあると思いますが、たくさん勉強して、多くの笑顔が守れる看護師になりたいと思います。

私の将来の夢は、手話が出来るお医者さんになることです。なぜかという、テレビで色々なかん者さんに対応出来るように手話を習っていて、今ではろうの人とも手話で話しているお医者さんを見たからです。

だから、私は去年から手話を習い始めました。手話は似ているものがたくさんあって覚えにくいですが、でも、手話を全部覚えて困っている人を助けてあげたいです。

私は将来、研究者になりたいと思っています。理由は、算数や理科が好きだからです。どんなことを研究するかは、まだ具体的には決まっていませんが、だれもがまだ知らないことを発見するような研究をして、人の役に立つこと、世の中の役に立つことをしたいと思っています。このようなことから、薬を研究するような研究者になりたいと思っています。

ぼくの将来の夢は、医者になることです。なぜなら、ぼくのおじと父は医者だからです。二人はたくさんの患者さんの命を救っています。ぼくはその姿を見て、ぼくもおじと父みたいな、みんなに信らいされるような医者になりたいと思いました。この夢にたどりつくために、一生懸命努力していこうと思います。

ぼくの夢は変わります。夢なんか一年で十個ぐらい増えます。大人になるまでに夢は数え切れないぐらいになると思います。でもそれが夢です。増えて増えて、また増えて、最後は自分が思ってもいなかっような人になる。そんな人まかせで気のむくままでいられることがぼくの夢です。変わるけれども、今の夢はWHOで働くことです。

ぼくの夢は、今のところはまだこれだ、と決まっています。これからの中学校、高校へ通う中で夢を探すような努力をしていければと思っています。ぼくは、物を作るのが好きなので世の中に貢献できるような少々小さな物を作るような仕事に就くことができればいいなと思っています。だから、木工で物を作る作業などはがんばりたいです。

ぼくは、将来はアメリカでせいしきにNBAでバスケットボールをすることです。今のところで日本人でせいしきにNBAで活やくできた人は、たったの一人だけしかいないので、その二人目になりたいと思いました。NBAに入るために日本で活やくしたいです。

ぼくの将来の夢は医師になることです。ぼくが小さい時に父に忘れ物とどけに病院にいった時、偶然父が白衣のすがたで患者さんを救急車にのせているところを見ておどろきました。患者さんに接する態度などを見てぼくもこういう仕事をしたいなとその時思いました。これから勉強をしっかりと知識をたくさん吸収すると同時に、父のように患者さんに優しく接することのできるような人になり、たくさんの患者さんの命を救いたいと思います。

ぼくの将来の夢は、二つあります。一つは、小さい頃からなりたかった獣医です。動物はかわいくて一緒にいるだけで、元氣をもらったり優しい気持ちにさせてくれます。そんな大切な命を守る仕事に就きたいです。

二つめは、千疋屋に就職することです。大好物の果物に囲まれて、おいしい果物の見分け方やカットの仕方を学んで、皆にも果物のおいしさを知ってもらいたいからです。

ぼくの将来の夢はYouTubeクリエイターです。世界では、笑顔を無くしてしまった人たちがたくさんいます。なので、ぼくが作った動画を見て一人でも笑顔をとりもどしてくれたらいいと思います。そして、ぼくの動画で、高評価がえられるようにしていつて世界の人が知るようなYouTubeクリエイターになりたいです。

ぼくの将来の夢は父の会社をつぐことだ。今日の日本は、洋食などが和の文化というものをおさえこんでしまっている。だから、父のかまぼこ会社をついで和の文化をふつきゅうさせたいと感じる。みんながおいしく食べられるかまぼこをつくりたい。

ぼくは、人の役に立つ仕事につきたいと思っています。それは、父と同じ医者です。父が働く姿を毎日みてみると、人の命を守るという大事な仕事なので、ぼく自身が一生けん命勉強して、いろいろな知識を身につけて成長していかなければいけないので、これから勉強も大変になってくるけれど、努力することを忘れず、夢に向かって一歩ずつ前進していきたいです。

僕の将来の夢は、いくつかあります。その中で、今一番なりたいたいものは、大学で薬の研究をするというものです。なぜかという、姉がもともと体が悪いため、その姉を元気にする事のできる薬をつくりたいからです。また、今日本での死因がトップの「がん」を治せる薬が無いため、苦しんでいる人を助けたいからです。その様な仕事につく事ができなくても、優しい心を持ちたいです。

ぼくの将来の夢は、眼科医です。祖父も父も眼科医で目に病気を持っている人の目を手術をして治してあげたり、薬をあげて治してあげたりして多くのかん者さんから信らいされています。ぼくも、多くのかん者さんの病気を治してあげて信らいされる眼科医になりたいと思います。

ぼくの将来の夢は二つあります。一つは教師になることです。小学校の生徒に生きていく上で大事なことを伝えていこうと思います。

もう一つは、電気製品を作ることです。電気製品といっても、未だに開発されていないものです。そんなものを作って世の中の役に立つものを作りたいです。今から努力して夢がかなうようにしていこうと思います。

私の将来の夢は、立派なお医者さんになりたくさんの人を助けたいです。私は小さいころからいろいろな病気をし、よく病院に通っています。その時、いつも優しく対応してくれて、とても心強くうれしく思うからです。なので、私もみんなに優しくできる、たよられるお医者さんになりたいと思います。そのために努力していきたいです。

私の将来の夢はじゅう医です。それは、私が飼っている犬が病気でじゅう医さんにみてもらった時です。じゅう医さんは、飼った犬の様子などを見て、原因を教えて下さったり、薬を出して下さいました。そんなじゅう医さんを見て私は、カッコいいな、私もあんな風になりたいな、と思いました。犬にさらわれていても、一生けん命動物を助けるじゅう医になりたいです。

私は、将来徳島大学病院の病理医になりたいです。病理医は患者さんの細胞を顕微鏡で診断したり、病死した患者さんの体の状態を診て、正しい治療ができていたか、他の病気が無かったかを調べるために病理解剖を行ったりします。父が話してくれる病理の話に興味を持ちました。大好きな地元徳島に力を尽くし、患者さんとその家族の役に立つ病理医になるためにこれからも勉強を頑張ります。

私の夢は、青年海外協力隊に入り、エチオピアに行つて人々を助けることです。二十代からするとは考えていません。でも、たくさんの方の力になれたり、たくさんの方の命を救える人になりたいです。看護するだけでなく、子どもたちに勉強を教えることがしたいです。もっと学習して、教えてあげられるようになると思います。

私の将来の夢は東京デイズニーリゾートのキャストになることです。小さいころから何回もデイズニーへ行っています。一度もあきることなく、又きてみたいと思う夢の国です。その秘密はいつたいなんだろう。キャストのみなさんのすてきな笑顔やおもてなしをみていると、私もみんなを幸せにするこの場所の一員として働けたらいいなと思っています。それに少しでも近づけるように努力していきたいです。

私は、将来、こん虫学者になりたいです。なぜなら、私は、生物（とくにこん虫）の観察をすることが大好きで、大人になったら、世界中を飛びまわって、いろいろなこん虫を観察したり、こん虫の生たいを調べたりしたいと思っています。そのためにも、日々の授業をきちんとしつかり身につけていきたいと思えます。

私の将来の夢は、医者になることです。幼い頃から父や母が医者として働いているのを見て、医学に興味を持ち、自分も人の命を救えるようになりたいと思ったからです。医者になるまでは、たくさん勉強しなければならぬので大変ですが、がんばりたいと思います。そして、医者になったら祖父が院長をしている見慣れた病院で、両親や祖父と働きたいと思えます。患者さんから信頼される優秀な医者になりたいです。

私の夢は小児科医になることです。私と同じ年なのに学校に行けなかったりずっとねこんでいるような人達を少しでも助けたいというのが理由です。また、私自身も高熱を出した時に小児科医である母に診てもらったことがあるのですが、何よりも病気が治った時はとてもうれしく感じます。このうれしさをいろんな人に分けてあげたいと思います。できる限り多くの人を幸せにしたいと思っています。

私の夢は、医者になることです。私は小さいころ、ある女医さんの伝記の本を読みました。その女医さんは、まわりの人に何と言われようと自分の意志をつらぬき女性初の医者になった人でした。この本を読んだとき、とてもすばらしい人だ。そんな人に、私もなりたいたい。そう思いました。だから私は、たくさんの人を助け、笑顔にできる医者になりたいと思います。

私は今の所、将来の夢は考えていません。幼稚園ぐらいの頃はたくさん頭に思い浮かんだのですが、今は思いつきません。でも、私は、将来仕事をする事になった時必要なのは、てきぱきと物事をこなす力だと思っています。まわりにいる人のためにどうするべきか考えるのも大事です。でも、私はまだそのような力を十分に兼ね備えていません。自分のために少しずつ意識していきたいです。

私は将来、ゲーム会社に勤めたいと思います。なぜなら、私はゲームが大好きだから、仕事がゲームとか、本当に最高だからです。ゲームはとても面白いので、一人でも多くの人にゲームの面白さを伝えていきたいと思っています。

私の将来の夢はおしばいをする人になることです。私は四年生のころ落ちこんでいたときに映画を見て元気になり、笑顔になったからです。今は新垣結衣さんのようになりたいと思っています。それはどんな難しそうな演技でも上手にこなしているからです。だから私も落ちこんでいたり悲しい思いをしている人達を笑顔にさせられるようになりたいです。